

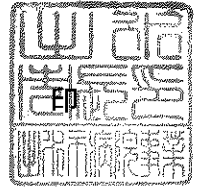


(様式例第8)

出総医第1572号
平成26年9月19日

鹿児島県知事 殿

開設者名 出水市長 渋谷 俊彦



出水総合医療センターの業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	53.2%	算定期間	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	3,402人	
	B: 救急患者の数	911人	
	C: 初診患者の総数	8,101人	

他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,202人 (2,376 人)
--------------------	----------------------

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に、「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

2 共同利用の実績 (様式例第9)

3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	1,757 人 (858人)
上記以外の救急患者の数	3,607人 (478人)
合計	5,364人 (1,336 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績 (様式例第5)

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
(様式例第10)

7 委員会の開催の実績 (様式例第11)

8 患者相談の実績 (様式例第12)

(様式例第9)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1 共同利用の実績

CT/MRI等紹介数（共同利用の実績）	
CT 664件	冠動脈CT 53件 MRI 648件 RI 111件 心筋シンチ 65件
その他 84件	
医療機関延べ数 1,625件	
うち解説者と直接関係のない医療機関延べ人数 1,625件	
・リニアック（共同利用の実績）48件	
医療機関延べ数 9件	
うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数 9件	
・高気圧酸素治療紹介数（共同利用の実績）32件	
医療機関延べ数 32件	
うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数 32件	

注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

2 共同利用の範囲等

建 物	病棟の病床施設、中央手術室、血管造影室、内視鏡室、人工透析室、化学療法室、講堂、講義室、図書室
設 備	中央手術室の全設備、アンギオ装置を含む血管造影室の全設備、MRI、CT(64列)、RI、リニアック、高気圧酸素治療装置、臨床検査科各検査機器等
器械又は器具	上記建物・設備に付随する各種機器、超音波診断装置、持続緩除式血液濾過透析装置、腹水濾過濃縮用装置、トレッドミル装置、オージオメーター等

注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

3 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
市川医院	市川 昭則	出水市緑町43-41	耳鼻咽喉	なし
おかだクリニック	岡田富志	出水市昭和町45-1	内・消化・放	なし
キッズクリニック	四位 昭人	出水市向江町19-24	小児・内	なし
楠元内科医院	楠元 孝幸	出水市平和町224	内・循環・胃腸・小児・心療内・歯	なし
境田医院	境田 通泰	出水市米ノ津町35-20	産婦・内・外	なし
しもぞのクリニック	下園 勇人	出水市五万石町802	内・胃腸・糖尿	なし
つかさとクリニック	塚里 孝和	出水市下知識町1518-1	内・神内・呼吸・消化	なし
恒吉医院	恒吉 礼三	高尾野町柴引1515	内・消化	なし
二宮医院	二宮 信幸	出水市本町4-45	小児・内・アレルギー	なし
ばばぐちクリニック	馬場口 泰宏	出水市六月田町711	整形・リハ	なし
林泌尿器科クリニック	林 豊秀	出水市明神町2355	泌尿器科・内科	なし
東医院	東 保徳	出水市六月田町360	内・外・肛・胃腸・麻・整・リハ	なし
平田整形外科クリニック	平田 健作	出水市上知識町856	整外・リハ・リウ・麻	なし
広瀬産婦人科医院	広瀬 正典	出水市昭和町15-20	産婦・内	なし
福永内科循環器科	福永 秀哲	出水市向江町13-28	循環・内・消化	なし
福元医院	福元 修	出水市米ノ津町3-30	内・循環	なし
よう皮ふ科医院	葉 著寿	出水市平和町133-1	皮膚	なし
吉田耳鼻咽喉科医院	吉田 重彦	出水市本町3-5	耳鼻咽喉	なし
来仙医院	来仙 隆洋	出水市野田町下名6909	内・小児・外	なし
三慶医院	新富 義侯	出水市上鯖淵1630-3	内	なし

有村産婦人科・内科	有村 徹	阿久根市栄町127-3	産婦・内・小児・皮膚	なし
上園医院	上園 孝	阿久根市本町152	内・小児・消化・肛	なし
鶴見医院	高野 卓二	阿久根市鶴見町119	内・呼吸・消化・循環・小	なし
林胃腸科外科	林 干城	阿久根市大丸町86	内・胃腸・肛門・外・消化	なし
北国医院	北国 敏	阿久根市本町184	外・胃腸・整形外科・小	なし
飯尾医院	飯尾 一成	長島町城川内88	内・外・婦人	なし
長島町国民健康保険鷹巣診療所	濱畑 弘記	長島町鷹巣1814	外・内	なし
長島クリニック	田畑 富士男	長島町指江82-13	外・内・胃腸	なし
平尾診療所	三角 芳文	長島町平尾134	内・外	なし

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6 床
--------------	-----

(様式例第5)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類

月	日	演 題	講師名(敬称略)
4	3	安全な輸血療法について 1	鹿児島県赤十字血液センター
	10	血清亜鉛測定の有用性	(株)シノテスト エリアマネジャー
	18	臨床研修制度について(その1)	宗清 正紀
	24	救急外来症例検討会	花田法久、吉井 博 他
5	8	安全な輸血療法について 2	鹿児島県赤十字血液センター
	16	臨床研修制度について(その2)	宗清 正紀
	22	特別講演(医療安全研修)「インシデントの事例分析」	熊本大学医学部附属病院 医療の質管理センター 副センター長 准教授 菊池 健
	30	初期臨床研修(地域医療)報告	河野正太郎、久良木悠介
6	5	禁煙支援と禁煙補助薬について	ファイザー(株) 学術担当
	13	臨床研修制度について(その3)	宗清 正紀
	19	高気圧酸素療法のススメ	橋本 誠士
	27	救急外来症例検討会	花田 法久、吉井 博 他
	//	初期臨床研修(地域医療)報告	平島 忠寛、鬼塚 悠里
7	3	病理症例検討会 CPC「最近経験したリンパ節病変 3症例」	花田 法久 熊本大学 菰原 義弘、福岡大学 猪狩 洋介
	17	特別講演「予防接種を考える」～ワクチン・リスクコミュニケーション～	鹿児島大学 微生物学 教授 西 順一郎
	24	鼻カニューレでの高流量酸素吸入(ネーザルハイフローについて)	日本エアリーキード(株) 和田 光司
	30	初期臨床研修(地域医療)報告	小野 雄介、幸田 彩未
8	7	BLS(一次救命処置)について	救急外来
	21	接遇研修	出水市市民福祉部いきいき長寿課 福泉 幸子
	29	救急外来症例検討会	花田 法久、吉井 博 他
	//	初期臨床研修(地域医療)報告	小林 由右子

月	日	演 題	講師名(敬称略)
9	4	褥瘡対策研修会「褥瘡の基礎と実際」	佐賀県医療センター好生館 皮膚排泄ケア認定看護師 江口 忍
	11	福島第一原発からの放射能汚染について	富士フィルムRIファーマ株式会社 千葉工場長 岡崎 富美夫
9	17	特別講演「心臓病と動脈硬化」	福岡大学 医学部 心臓・血管内科学 教授 朔啓二郎
	26	初期臨床研修(地域医療)報告	太田 昌成、河野 雄紀
10	2	教育講演「DPC時代の病院マネジメント」	鹿児島大学大学院 医療情報システム情報学 准教授 宇都 由美子
	9	クリニカルパス大会 電子カルテ クリニカルパス	5病棟、6病棟
	16	平成25年度院内学術講演会	医事課、薬剤科、4病棟、中央手術室、経営企画課
	23	臨床病理症例検討会 CPC「胆嚢癌」	花田 法久 熊本大学 医学部 病理細胞学 講師 菰原 義弘
	30	救急外来症例検討会	花田 法久、吉井 博 他
	//	初期臨床研修(地域医療)報告	別府 万里、原 麻美
11	6	医療安全研修 医薬品、医療機器について	城野 敏幸、塩山 貴志
	13	口腔ケア研修会「基本的な口腔ケア(ADL低下時の口腔ケア)」	サンスター株式会社 医科歯科営業部 学術担当 辻本好恵
	20	臓器移植研修会「心停止下における臓器提供の流れ 鹿児島の移植事情・角膜提供について」	臓器移植コーディネーター
	28	初期臨床研修(地域医療)報告	李 容承、上野 碧、児島 奈弥
12	4	医療安全研修 多職種連携で「転倒・転落」を防ぐ	第一三共株式会社 学術担当
	11	TQM歯止め大会	TQM委員会
	18	臨床病理症例検討会「最近増えています。潰瘍性大腸炎」	寄山 敏男、岩下 祐司 熊本大学 医学部 病理細胞学 講師 菰原 義弘
	26	救急外来症例検討会	花田 法久、吉井 博 他
	//	初期臨床研修(地域医療)報告	梶原 啓資、牟田 隆則
1	8	接遇研修報告	野末 佳秀
	15	メンタルヘルス	株式会社 こころ機構 鶴戸 俊博

月	日	演 題	講師名(敬称略)
1	22	認定看護管理者ファーストレベル研修報告	谷口 由美
1	29	認定看護管理者セカンドレベル研修報告	溝下 晴美
2	6	教育講演「患者誤認防止について」	熊本大学医学部附属病院 医療の質管理センター 副センター長 准教授 菊池 健
	12	教育講演「消毒薬の正しい使い方」	山口大学医学部附属病院薬剤部 准教授 尾家 重治
	19	クリニカルパス大会	クリニカルパス委員会
	26	チーム医療で取り組む心臓リハビリテーションについて	上村 亘
3	//	福祉住環境コーディネーターとは	川田 竜郎
	3	特別講演「熊本の産婦人科医療最前線 2013～2014」	熊本大学医学部附属病院 産科婦人科 教授 片渕 秀隆
	11	平成26年度 診療報酬改定研修会	(株)日本経営
	19	医療ガス安全管理研修	(株)クロックス メディカル部
	26	ノロウィルス感染防止研修会報告	川崎 民子、宇藤 忍
	//	血管にこだわる理由～血管診療技師を取得して～	吉本 圭介

平成25年度 院内学術講演会

月日	部署名・演者	演 題	座 長
	医事課	保留レセプトへの取り組み	宮崎 龍美
	薬剤科	ワルファリンの抗凝固作用に及ぼす抗生剤の影響についての検討	吉井 博
10月 16日	4病棟	「内服薬の重複投与ゼロを目指そう」～持参薬から院内処方への移行において～	寄山 敏男
	OP室	「フェイススケールを用いた術前の患者の緊張度と血圧の変化について」	竹下 次郎
	経営企画課	「事務部内業務改善の取り組み」	坂元 誠士

1 研修の内容

<p>1 研修会の内容</p> <p>(1) 地域連携パスに関連する研修会 平成25年度 出水地域脳卒中連携ネットワーク研究会 この研究会は出水地域（出水 阿久根 長島）の脳卒中診療急性期・回復期・維持期において、施設間連携により情報共有し、地域完結型診療システムを構築するために、年3回の研究会を開催している。 ※出水広域医療センターとの交互開催であり、平成25年度は当院で2回開催となった。 開催日 平成25年12月6日 参加者 88名 平成25年9月8日 出水広域医療センターでの開催 平成26年4月11日 都合により年度内に開催できず平成25年度の3回目として開催した 参加者 67名</p> <p>(2) 水曜勉強会（毎週水曜日、研修会開催） 平成25年度は、54回開催（参加者延べ数：3,146人）</p> <p>(3) 阿久根 出水 長島地区口腔ケア研修会 平成25年 9月8日 参加者数（ 63人 ）</p> <p>2 地域医療連携との合同カンファレンス 月1回 開催（三水会） 参加者数（ 180人 ）</p>
--

2 研修の実績

研修者数	3,544人
------	--------

(注) 前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有・無
- (2) 研修委員会設置の有無 有・無
- (3) 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
瀬戸弘	医師	脳神経外科	院長	32年	教育プログラム責任者
吉井博	医師	総合内科	副院長	24年	
花田法久	医師	外科	副院長	26年	研修実施責任者
壽山敏男	医師	消化器内科	副院長	24年	

和田和宏	医師	小児科	科部長	15年	
宗清正紀	医師	臨床研修センター	センター長	37年	
中沢不二雄	医師	整形外科	科部長	22年	
楠元孝明	医師	循環器科	科部長	11年	
岡村茂樹	医師	外科	科部長	12年	
米良久美子	医師	腎臓内科	科部長	12年	
加治正知	医師	脳神経外科	科部長	13年	
徳田真弓	看護師	看護部	看護部長	34年	
田實敏郎	臨床検査技師	診療技術部	部長	34年	

注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
医局	180㎡	(主な設備) パソコン インターネット接続 プリンター スキャナー シャーカステン 机 椅子
講堂	216㎡	(主な設備) スクリーン 音響 マイク プロジェクター インターネット接続 シャーカステン ホワイト ボード 机 椅子
講義室	55㎡	(主な設備) スクリーン プロジェクター ビデオ装置 シャーカステン ホワイトボード 机 椅子

施設概要

- ・ 名 称 出水総合医療センター
- ・ 事業開設年月日 大正14年3月1日
- ・ 開設者 出水市
- ・ 病院事業管理者 永田 四郎
- ・ 院長 瀬戸 弘
- ・ 所在地 鹿児島県出水市明神町520番地
- ・ 地方公営企業法 適用年月日 昭和43年4月1日 (一部適用)
平成20年4月1日 (全部適用)

- ・ 病床数 274床（一般226床、回復期リハビリテーション44床、感染症4床）
- ・ 診療科目（※ 院内標榜）
内科、総合内科※、健康管理科※、糖尿病・代謝内科、神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、動脈硬化外来※、腎臓内科、肝臓内科、小児科、放射線科、リハビリテーション科、外科、乳腺外科※、整形外科、婦人科、皮膚科、脳神経外科、脊椎外来 ※、眼科、麻酔科、泌尿器科（休診中）

施設面積

- (1) 土地 30,149.94㎡
- (2) 建物
本館 鉄筋コンクリート造 19,861㎡

(様式例第6)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 瀬戸 弘
管理担当者氏名	診療情報管理室長 和田 昭宏

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		診療録 電子カルテ カルテ庫 診療録以外 各事務所管部署	1患者1ID番号
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	救急外来	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	経営企画課	
	閲覧実績	経営企画課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第10)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	出水市病院事業管理者 永田 四郎
閲覧担当者氏名	経営企画課 総務係長 餅原 英夫
閲覧の求めに応じる場所	経営企画課

前年度の総閲覧件数	0	
閲覧者名	医師	0
	歯科医師	0
	地方公共団体	0
	その他	0

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(様式例第11)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
委員会における議論の概要	
<p>概要</p> <p>開催日時：第1回平成25年7月5日（木）</p> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none">・地域医療支援病院運営委員会運営規程一部改正・地域医療支援病院紹介・逆紹介率の推移・開放型病床登録医の登録状況・高額医療機器共同利用の実績・救急患者取扱件数・研修実績・初期臨床研修医受入状況・市民への広報活動 <p>開催日時：第2回平成26年2月27日（木）</p> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none">・地域医療支援病院紹介・逆紹介率の推移・開放型病床登録医の登録状況・高額医療機器共同利用の実績・救急患者取扱件数・研修実績・初期臨床研修医受入状況・市民への広報活動	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第12)

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・ <u>相談室</u> ・ <u>その他</u> (地域医療連携室内相談室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	社会福祉士 看護師 医事課職員
患者相談件数	3,619件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none">・退院支援に係わる相談・介護保険サービスに係わる相談・がん相談・身体障害者手帳に係る相談・経済・医療費・生活保護に係る相談・障害年金に係る相談・高齢福祉、福祉サービス、福祉機器に係る相談・住環境整備に係る相談 <p>対応内容</p> <ul style="list-style-type: none">・転院、退院に向けて、家族面談を行い、医療機関、退院後の施設等の情報提供、および転院先医療機関、施設との調整・医療従事者および患者・家族の依頼により、面談を行い、社会保障制度の説明や手続き方法の指導、関係医療機関、施設との調整・がん治療に関する治療相談、医療費相談・セカンドオピニオンに関する問い合わせ・身障者手帳作成手続き方法の説明・亜急性期病室、快復期病室入棟に関する説明・医療費支払い、高額医療、生活保護、傷病手当、補装具還付に関する手続き方法の指導、説明・障害年金の申請、申し立て書記入指導、医師へ診断書作成依頼・吸引器、おむつ交換、給食サービス、車椅子レンタル等の説明、手続き方法の指導・住宅改修、家屋訪問、退院後訪問指導	

注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。